



2018年11月14日

2019年3月期第2四半期決算説明会

株式会社日本動物高度医療センター（東証マザーズ：6039）



- I 決算の概要
- II 経営課題と今後の展望
- III Appendix



- I 決算の概要
- II 経営課題と今後の展望
- III Appendix

2019年3月期 決算概要

- 2019年3月期第2Qは今年1月に開設した東京病院が順調に立ち上がったこともあり、初診数等が2ケタ増となり、増収増益を達成

(百万円、%)

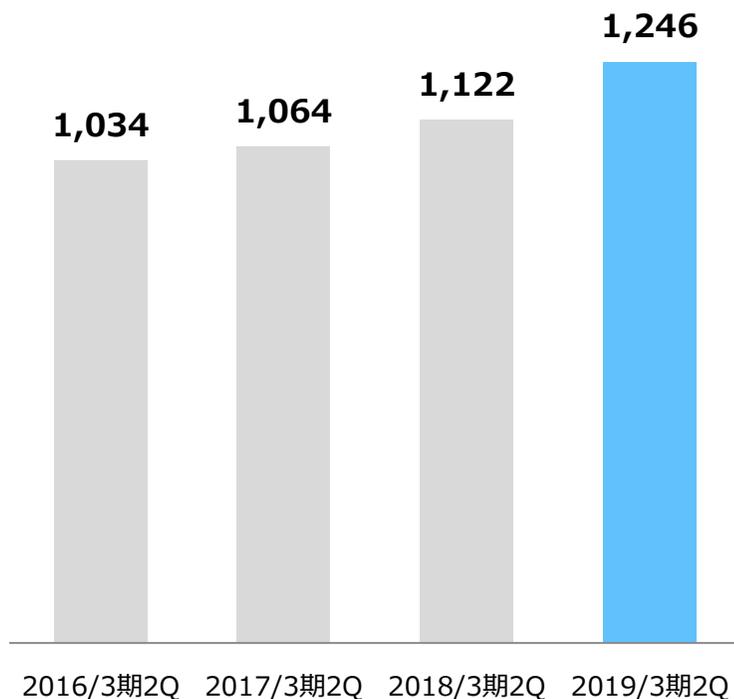
	2018年3月期				2019年3月期					
	2Q実績	構成比	通期実績	構成比	2Q実績	構成比	前年同期比	通期予想	構成比	前年同期比
売上高	1,122	100.0	2,258	100.0	1,246	100.0	+11.1	2,560	100.0	+13.3
営業利益	167	14.9	279	12.3	179	14.3	+6.8	350	13.6	+25.0
経常利益	149	13.3	263	11.6	181	14.5	+21.0	350	13.6	+32.8
親会社株式に帰属する 四半期純利益	108	9.6	208	9.2	147	11.8	+35.6	285	11.1	+37.0
1株当たり 四半期純利益	46.21	—	87.63	—	61.21	—	+32.4	118.28	—	+34.9

2019年3月期第2四半期 売上高・営業利益の状況

- 売上高は前年同期比1億24百万円増、11.1%プラス。 営業利益は同11百万円増、6.8%プラス

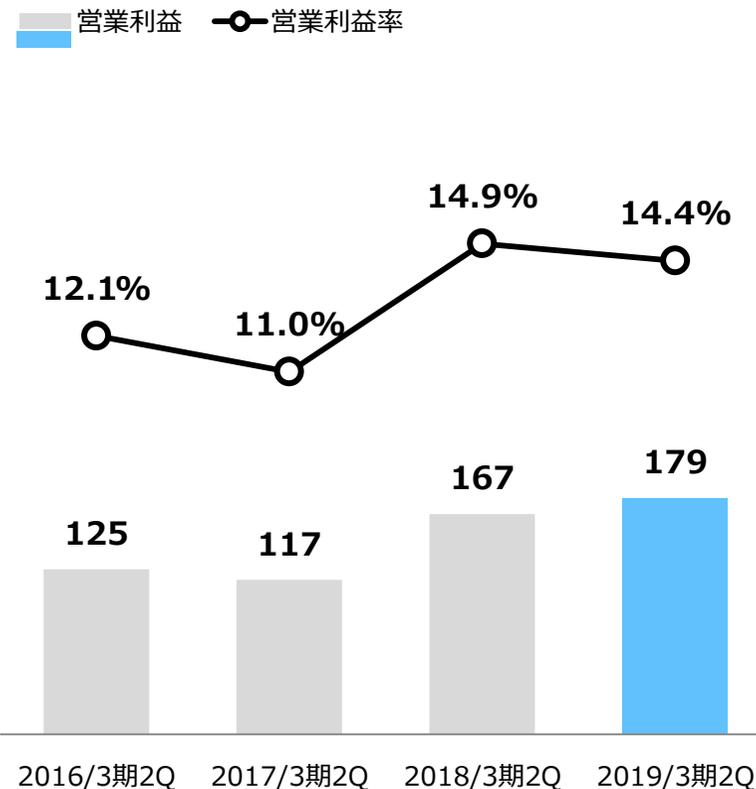
売上高の状況

(百万円)

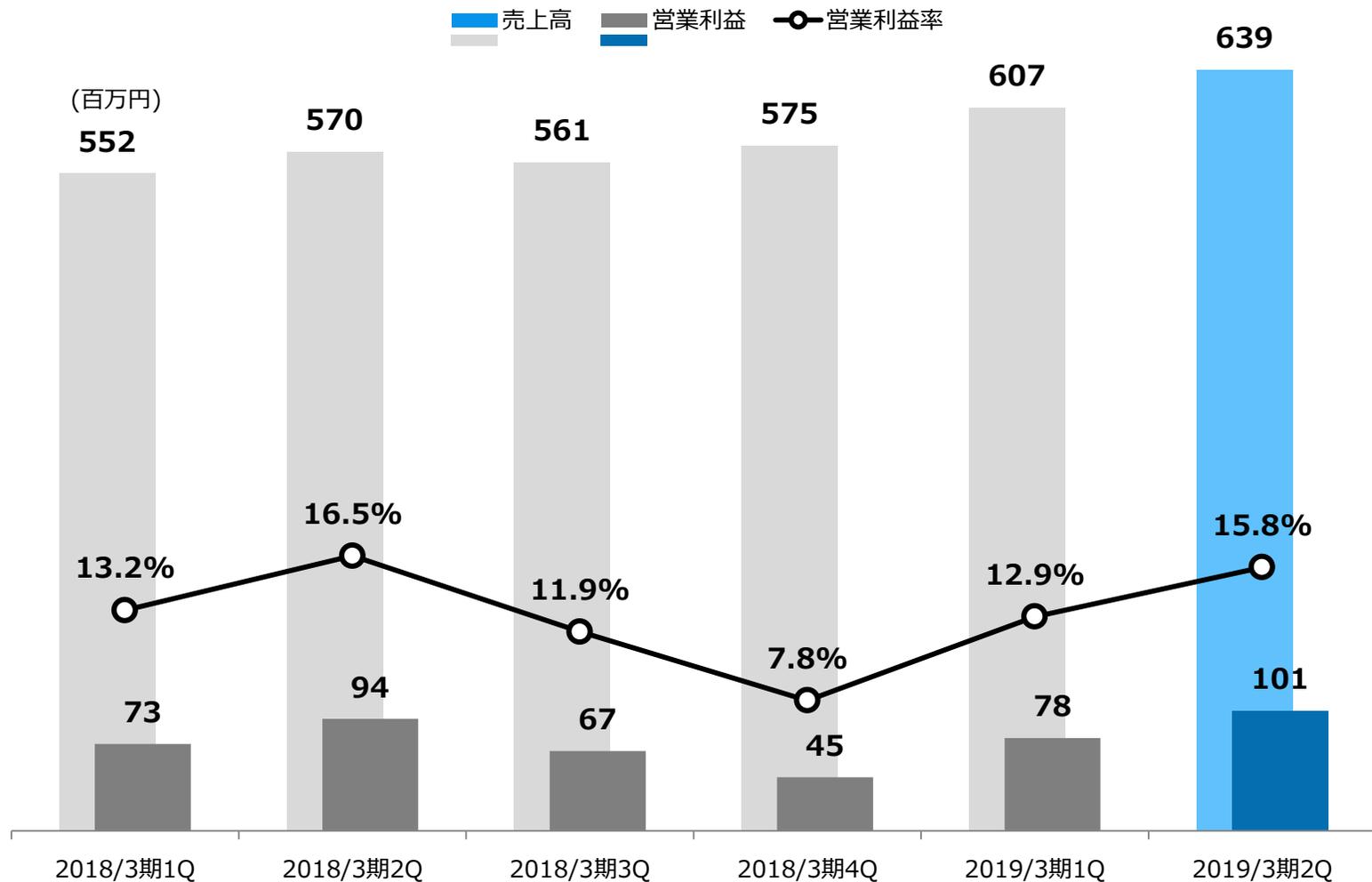


営業利益・同利益率の状況

(百万円)

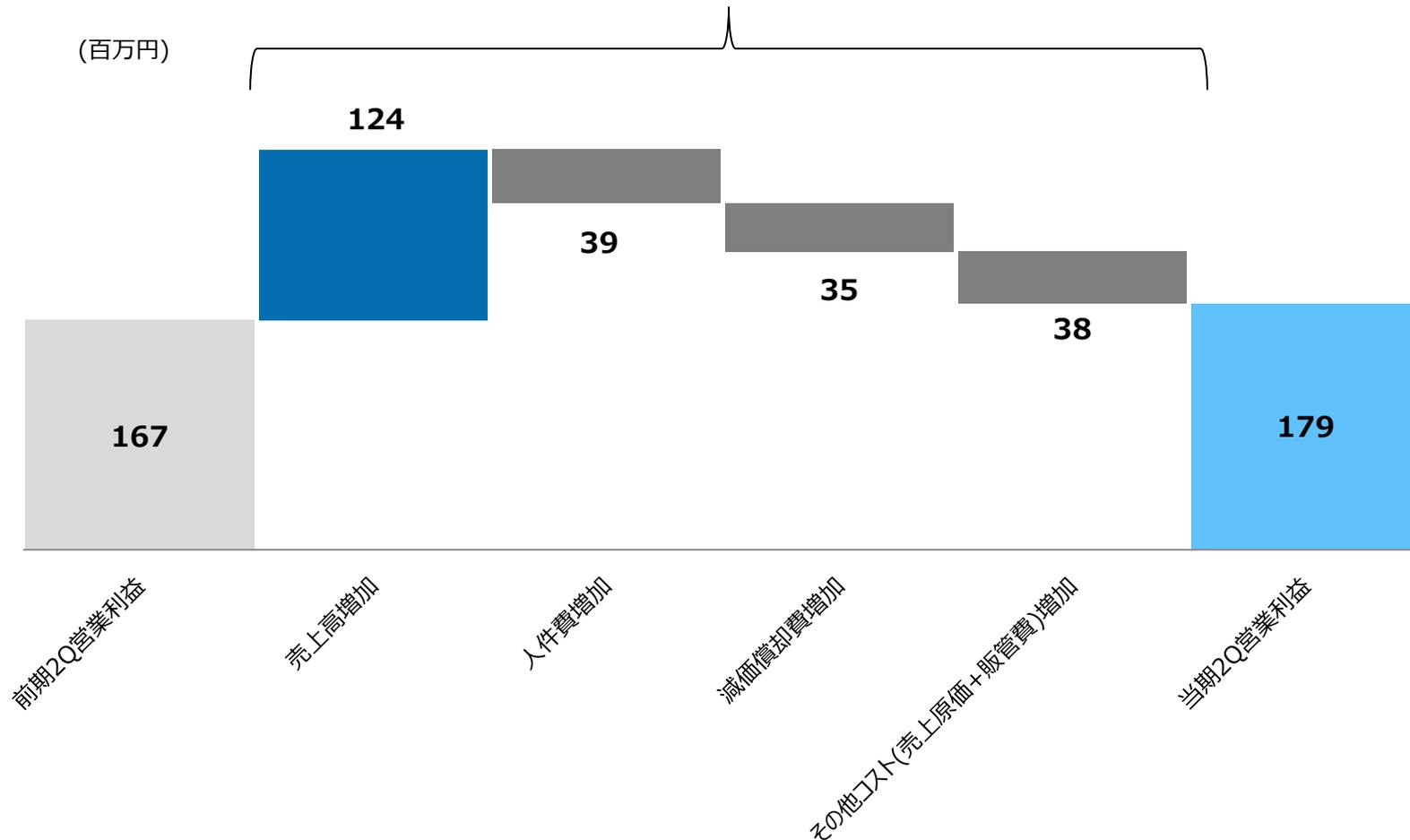


(ご参考) 四半期決算 業績推移



➤ 主に東京病院開設効果

- ✓ 初診数：2,939件(前年同期比23.3%増)
- ✓ 総診療数：11,730件(前年同期比13.8%増)



1. 東京病院の順調な立ち上がり

- ① 2018年4～9月： 初診数 756件
売上高 217百万円

2. 対外活動の推進

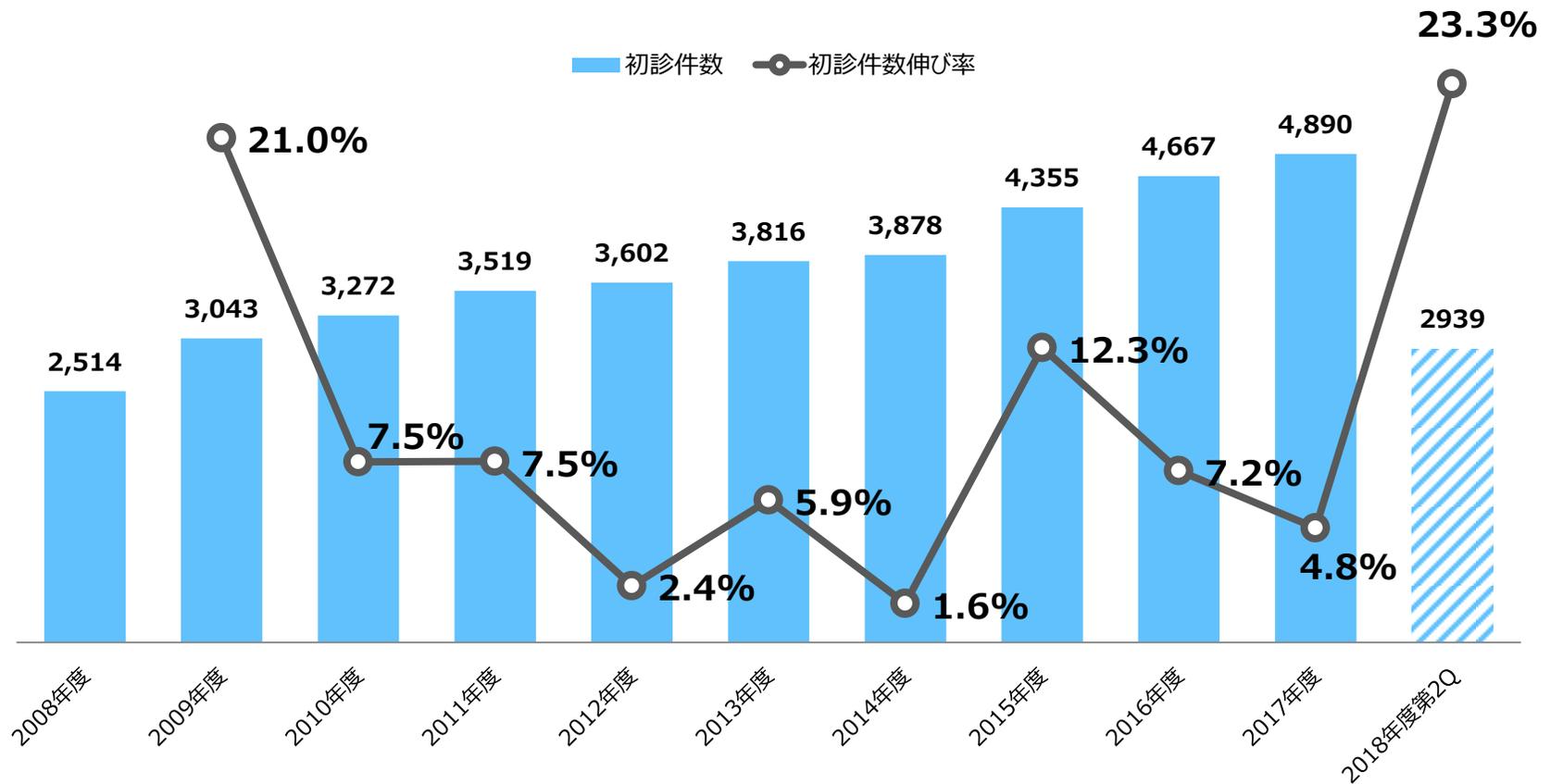
- ① 学会発表、セミナー開催などの学術活動を積極的に実施

	2016年10月～2017年9月	2017年10月～2018年9月
学会、セミナー数	27	31
発表 演題数	52	65

初診数（紹介数）の推移

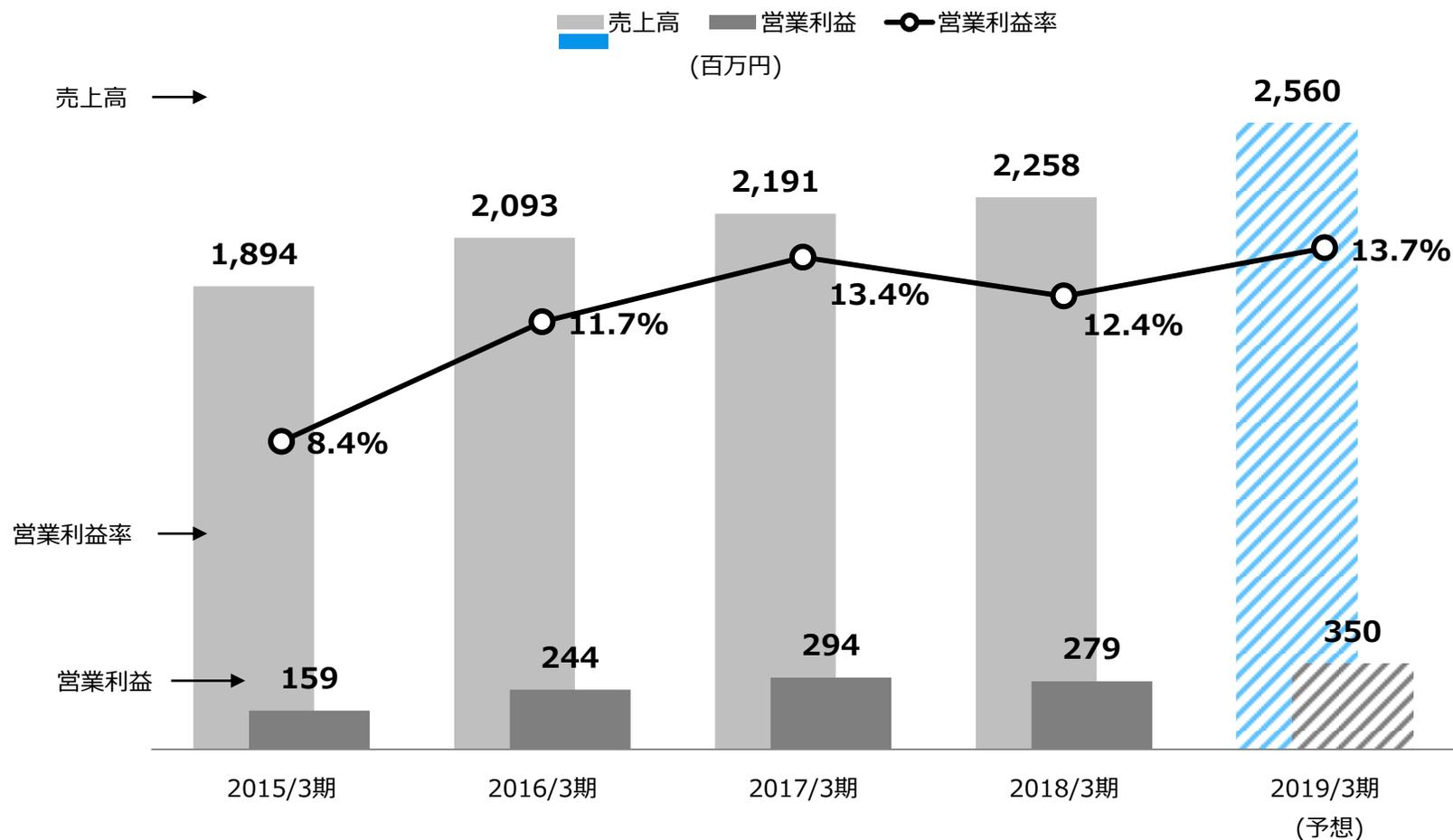
初診件数の推移

(件)



2019年3月期通期見通し

- 通期売上高は前期比3億2百万円増加、13.3%プラス、営業利益は同71百万円増、25.0%プラスを見込む





- I 決算の概要
- II 経営課題と今後の展望
- III Appendix

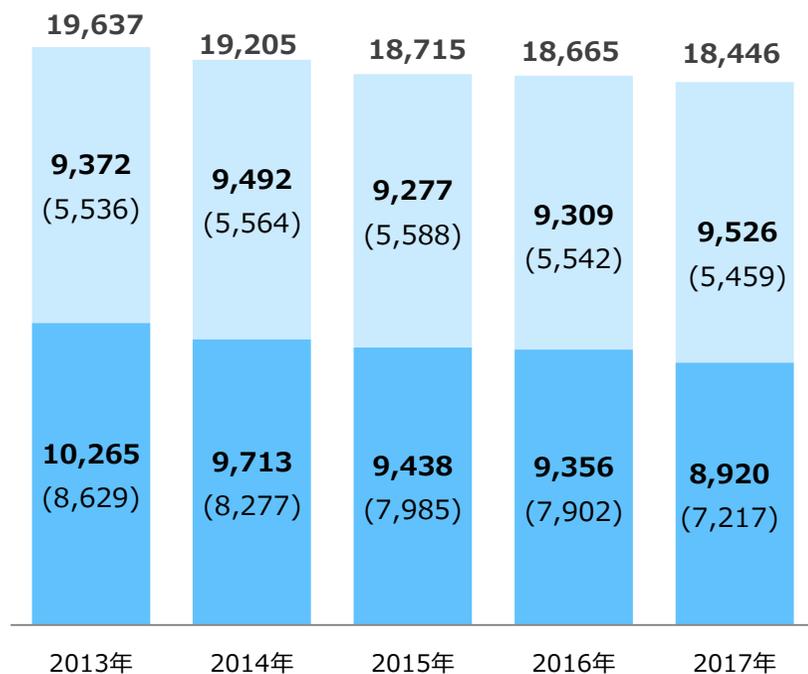
- ① ペット数、ペット保険市場の拡大
- ② 連携病院数の拡大
- ③ 人材(獣医師等)の継続的な獲得
- ④ 新規事業の拡大継続

①-1 動物医療業界を取り巻く環境

■ 犬猫の飼育頭数は漸減減少傾向にあるが、ペット関連市場規模全体及び一世帯の医療にかかる費用は上昇傾向

犬猫飼育頭数

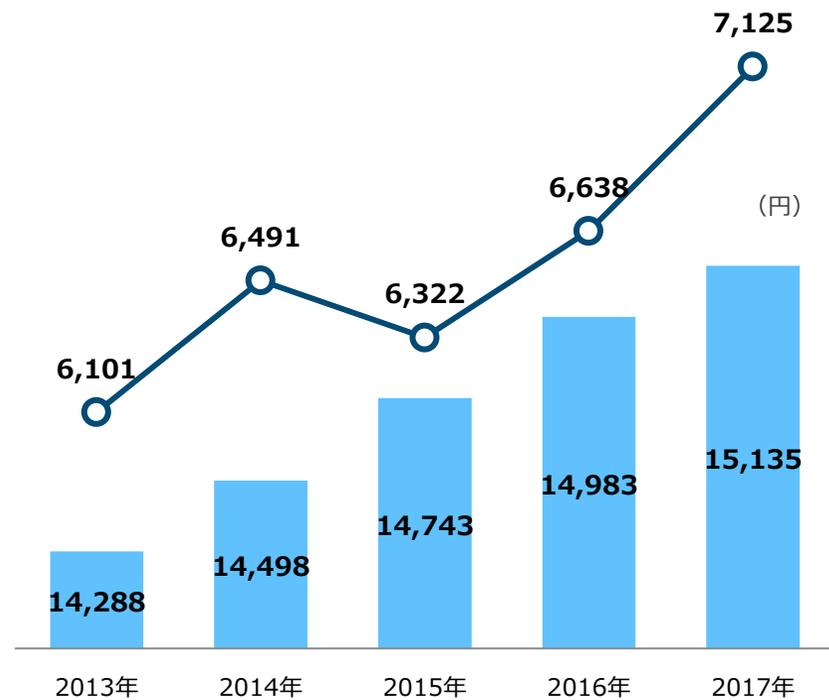
■ 犬飼育数 (飼育世帯数) ■ 猫飼育数 (飼育世帯数)
(千頭、千世帯)



出所：日本ペットフード協会

市場規模と一世帯当たり動物病院支出額

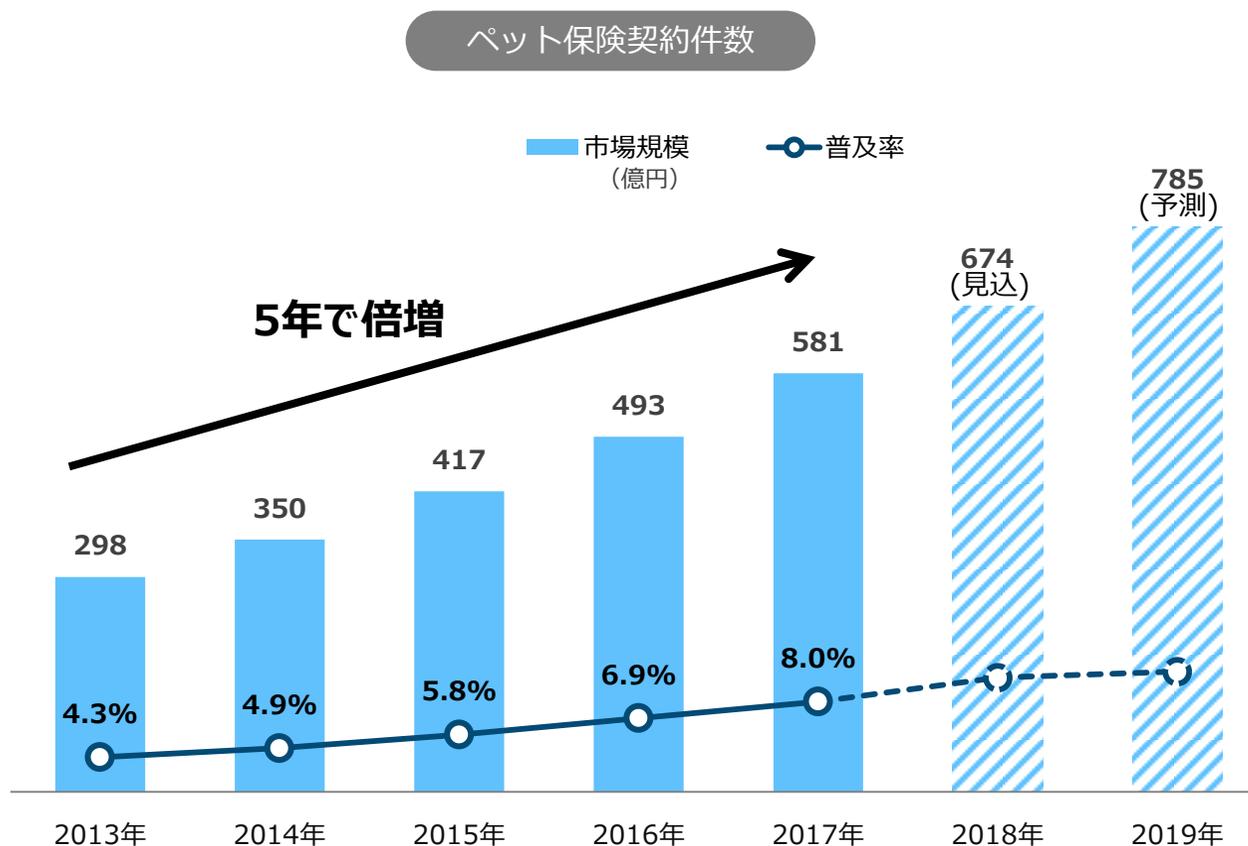
■ 市場規模 (億円) ● 一世帯当たり支出 (円)



出所：矢野経済研究所「ペットビジネスマーケティング総覧2018版」、総務省「家計調査」

①-2 ペット保険の成長性

- ペット保険の市場規模は**5年間で倍増**しており、今後も拡大が続く見通し
- 加えて、ペット保険**普及率%は一桁台**に留まっており、将来的に更なる普及が見込まれる



出所：富士経済 2018ペット関連市場マーケティング総覧

② 連携病院拡大

1. 拠点の拡大による効果

- 第3の二次診療施設として、東京病院（東京都足立区）を2018年1月に開業
 - ✓ 首都圏東部・北部からの紹介受入強化へ
- 大阪病院（仮称）は、2020年春以降に開業予定
 - ✓ 東名阪の拠点をもちに、連携病院の拡大加速へ

<KPI>

- ✓ 関東連携病院比率：
50%目標

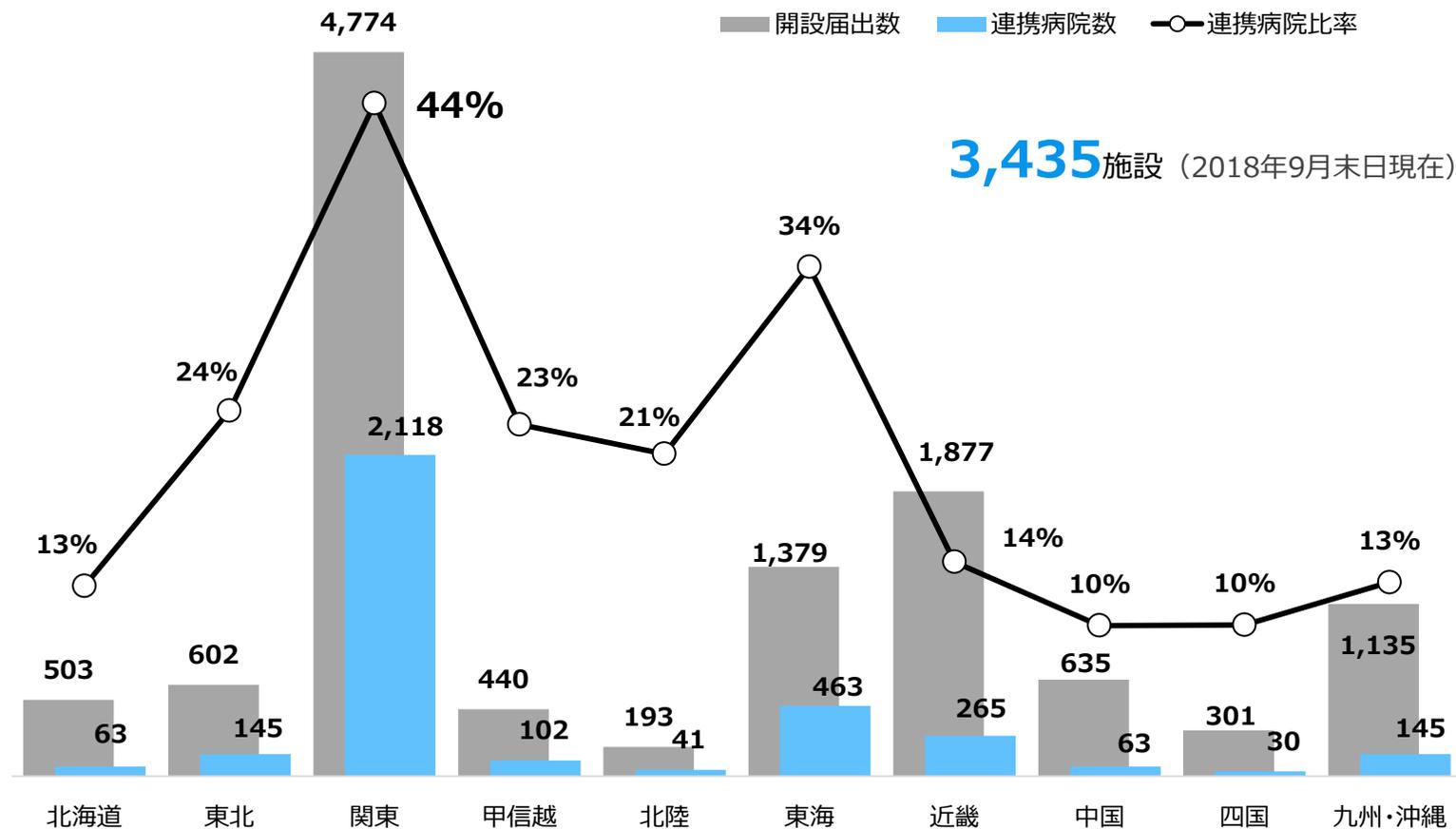
<KPI>

- ✓ 初診件数：
前期比**22%増**目標

2. 対外活動強化による効果

- 学会発表、セミナー開催などの学術活動を継続して推進
 - ✓ 地域の動物病院との連携を積極化

(ご参考) 地域別連携病院数

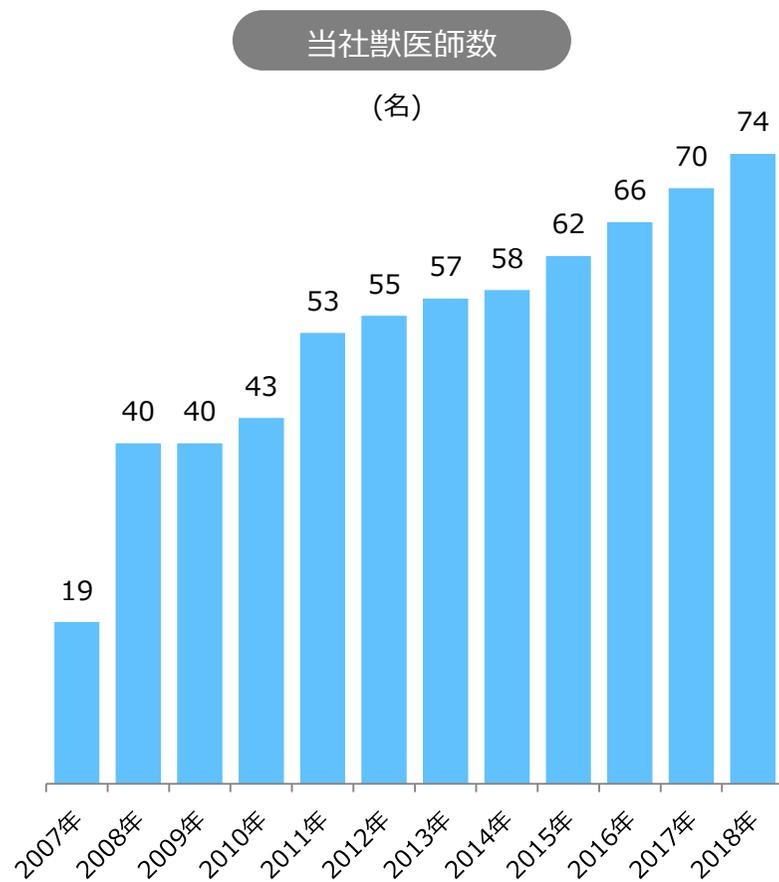
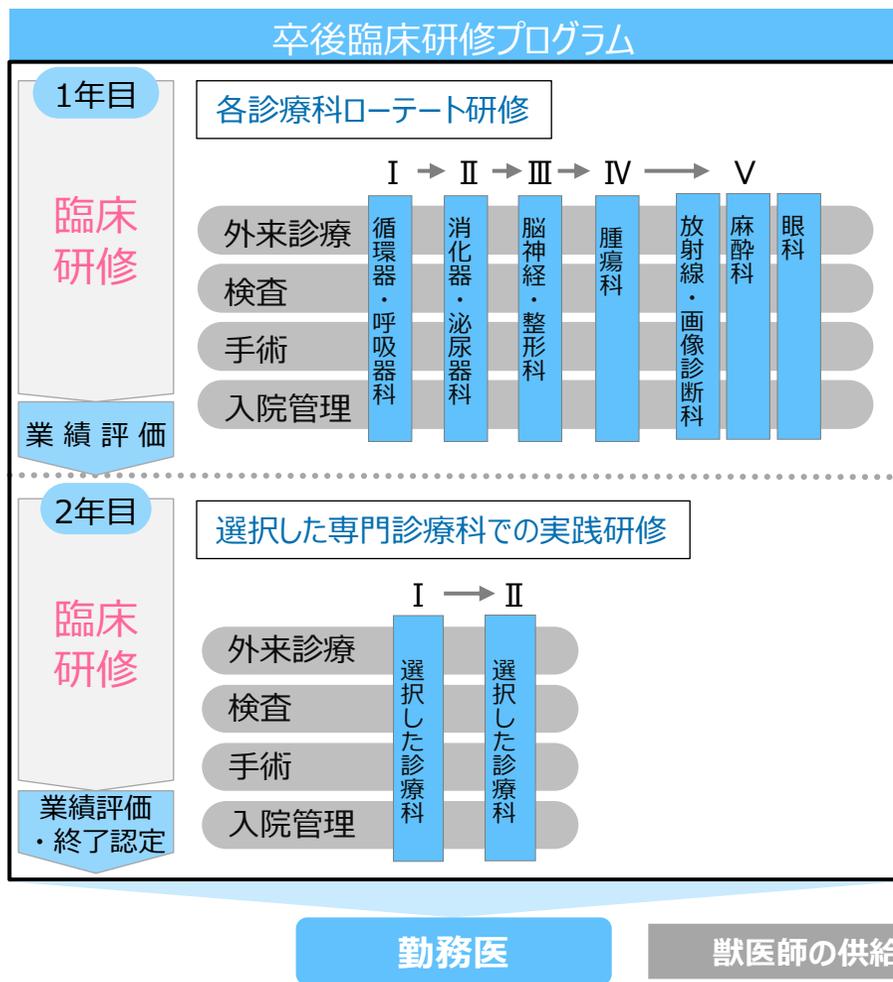


(注) 地域別の開設届出数は農林水産省より、2017年12月末時点の小動物診療施設の軒数
連携病院数は2018年9月末時点の軒数

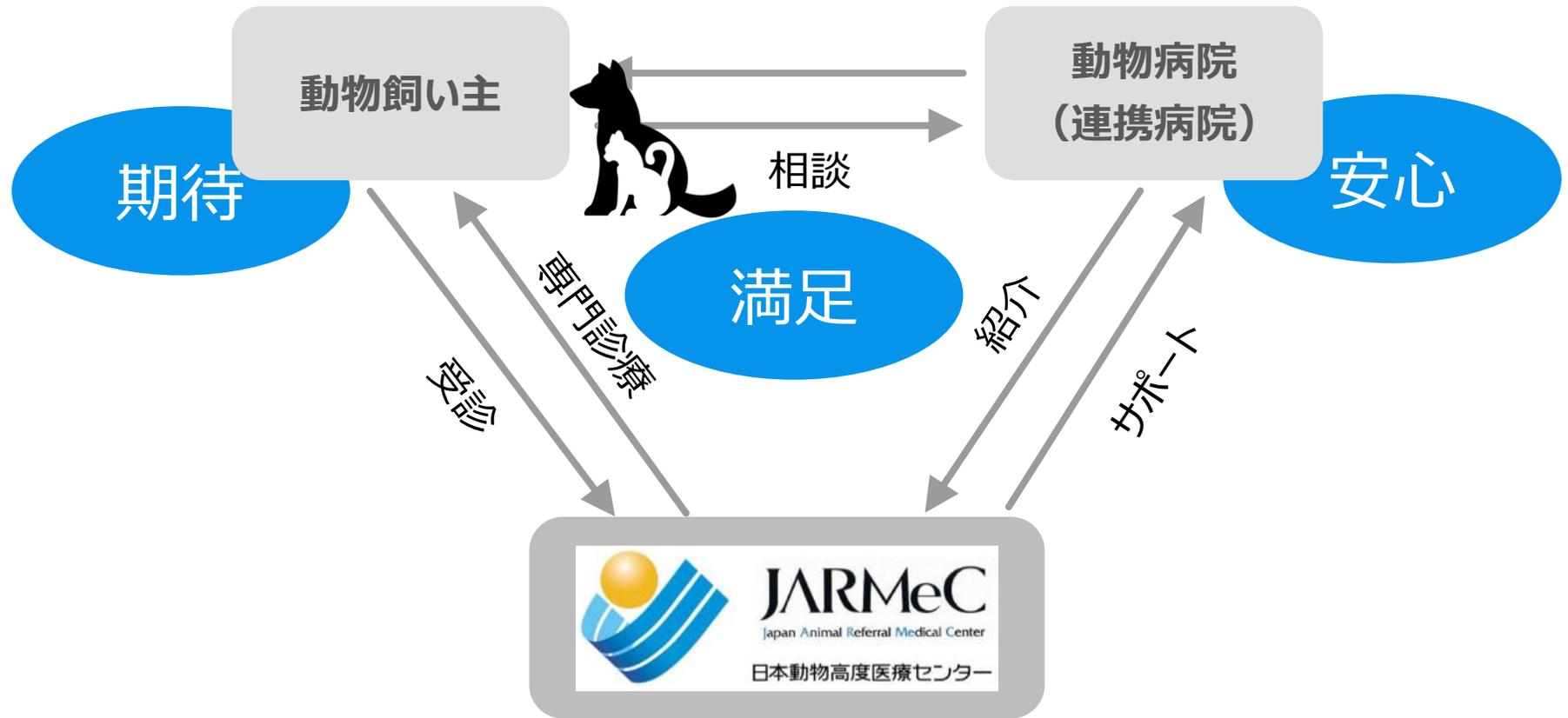
③人材(獣医師等)の継続的な獲得

- 大学・専門学校・各種団体との関係性強化、人脈形成に尽力し、採用活動を積極的に実施
- 実践的な卒後臨床研修を通じて勤務医を育成し、拠点の増加に対応している

(※当社は農水大臣指定の「小動物臨床研修診療施設」)



(※人数は日本動物高度医療センター単体：各年6月末)

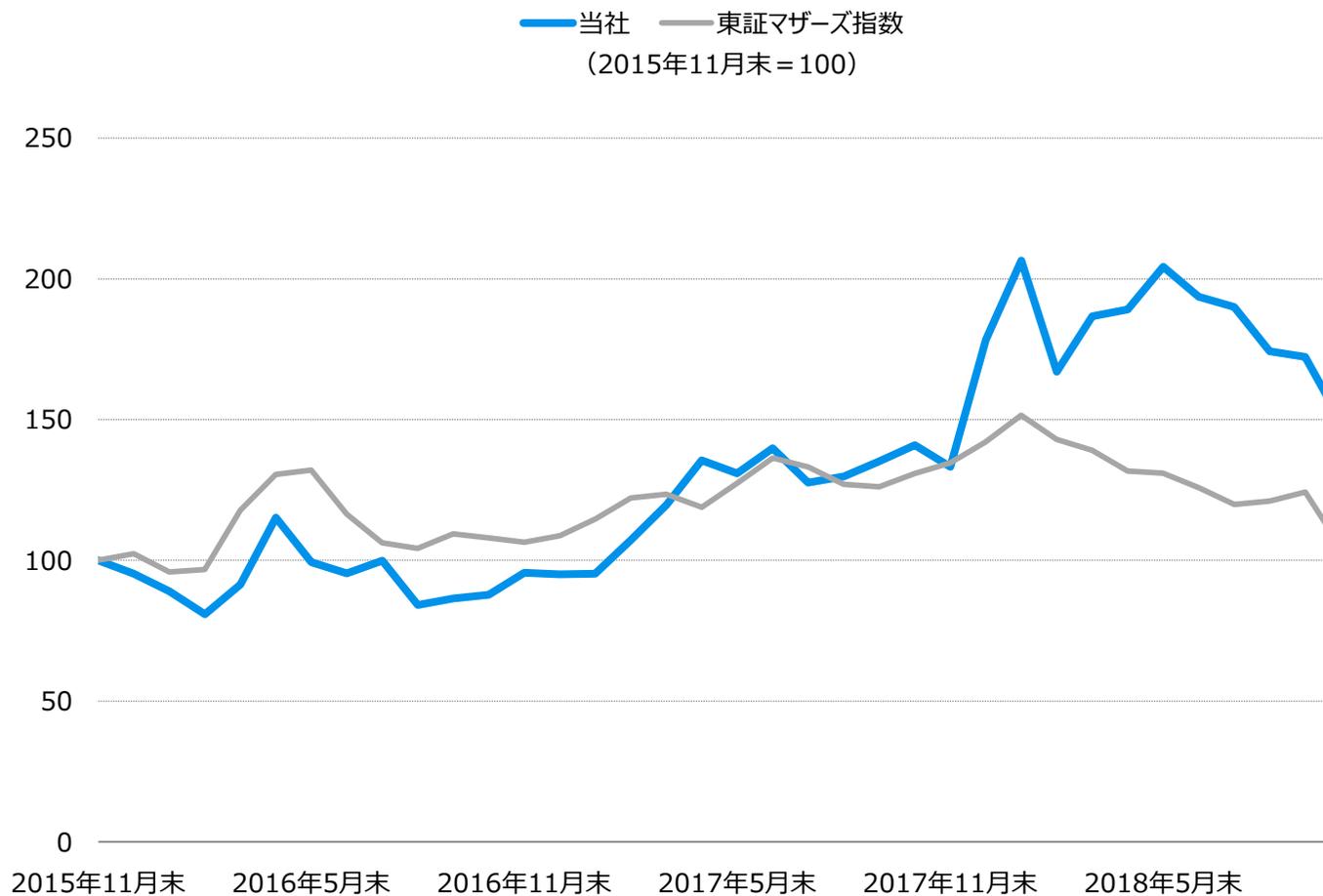


- ✓ 「ペットに家族と同じように高度な医療を受けさせたい」
- ✓ かかりつけ動物病院様が**安心**して紹介
- ✓ 患者動物・飼い主様が**期待**して受診
- ✓ その結果皆様と共に我々も**満足**できる動物医療を目指すことで、広く社会に貢献

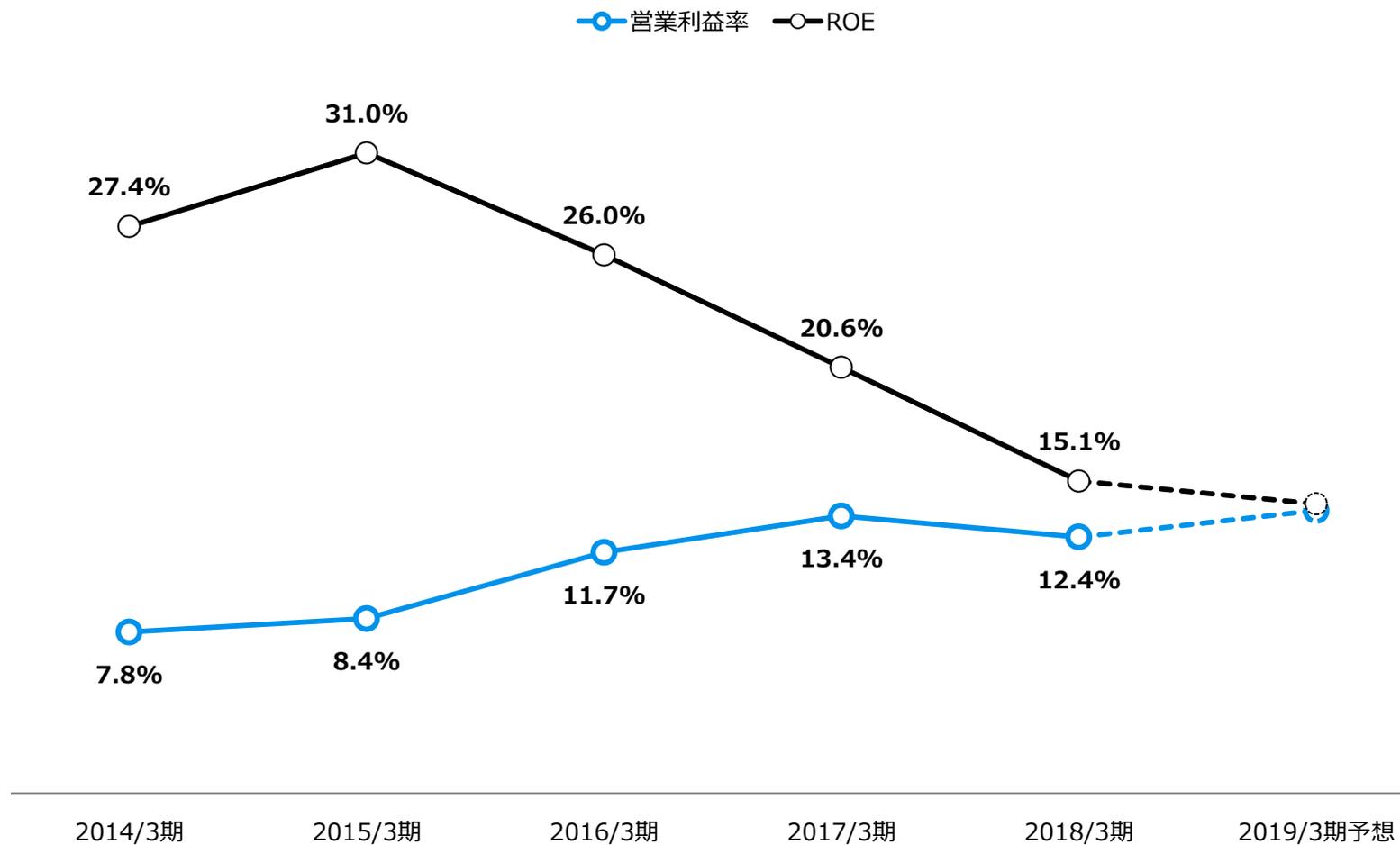


- I 決算の概要
- II 経営課題と今後の展望
- III **Appendix**

東証マザーズ指数相対株価（月次）

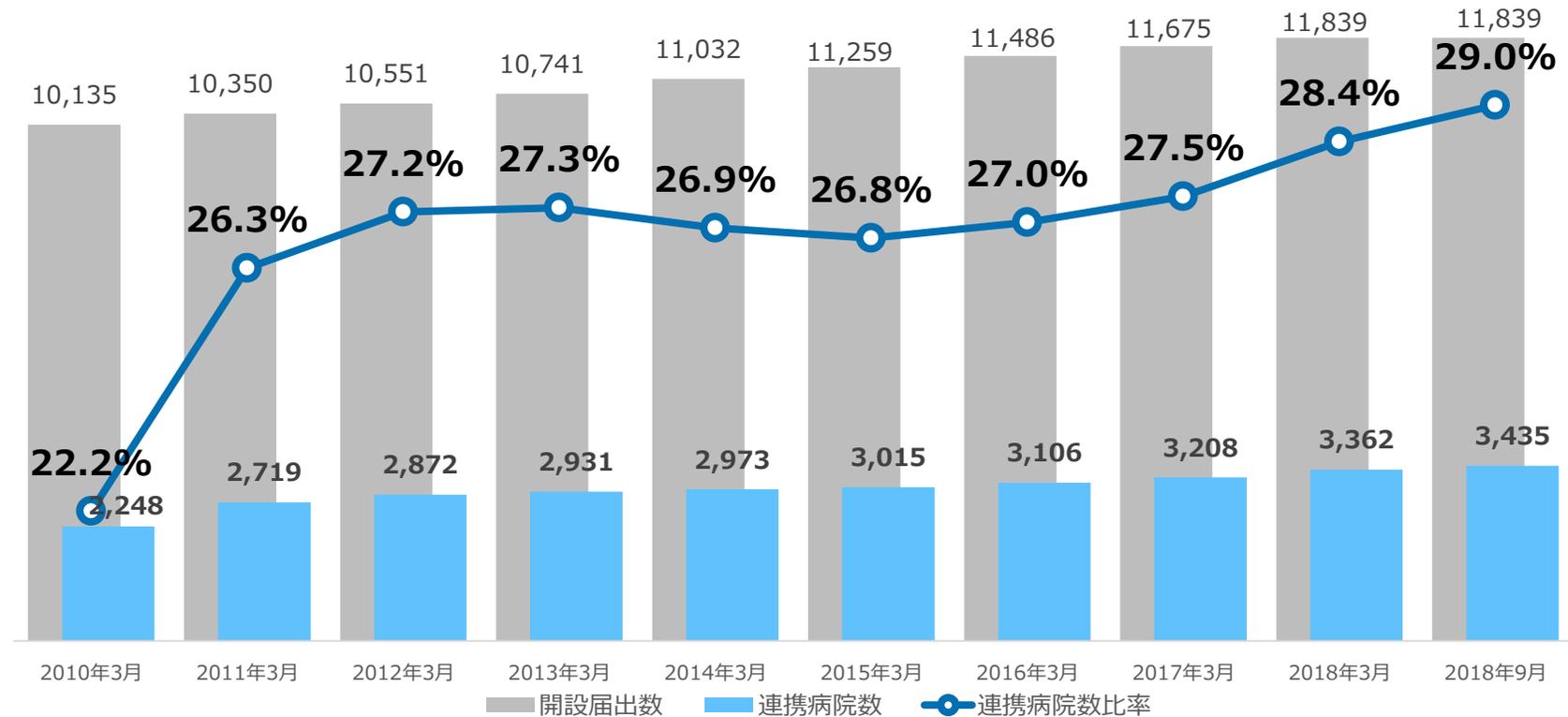


ROE、営業利益率の推移



連携病院数及び比率の推移

- 連携病院数：**3,435**施設（2018年9月末日現在）
- 連携病院比率：**29.0%**（2018年9月末日現在）



(注)開設届出数は農林水産省（前年12月末時点の小動物診療施設の軒数）

- 本資料は、株式会社日本動物高度医療センターの事業及び業界動向についての株式会社日本動物高度医療センターによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた 将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。
- 既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。
- 株式会社日本動物高度医療センターは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、2018年11月14日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社日本動物高度医療センターにより2018年11月14日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。